

〔何故これら3人のアーティストたちなのか?〕

忘却の淵に沈んでしまった作品を復活再評価させるためにはそれが優れた演奏であることが不可欠です。

そして何よりも作品への共感度が問われます。私（谷戸基岩）が音楽評論家になってから通った約7,000のコンサートで聴いて、「これは!」と思ったアーティストたちの中からご登場いただきました。



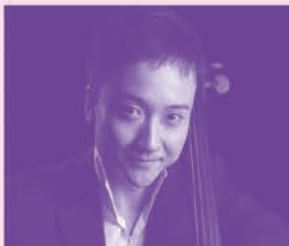
福井麻衣(ハープ)

その旺盛なチャレンジ精神を以て演奏に臨み、楽器の未来を切り拓く「風の時代のハーピスト」。偉大なルニエの業績を俯瞰するプログラムをどうこなすのか、大いに楽しみだ。



岸本雅美(ピアノ)

関西を代表する実力派ピアニスト。一流のソリストたちとの室内楽でも高い評価を得ている。長年共演を重ねてきた上森、今回が初めての福井とのアンサンブルでも快演を聴かせてくれるはず。



上森祥平(チェロ)

毎年欠かさず自ら主催する「パッパ：無伴奏チェロ組曲全曲」のコンサート。そこで併せて取り上げる作品の数々も含めその柔軟性、対応能力の高さは凄い。本公演でも圧倒的な演奏が繰り広げられるだろう。



小林 緑(プレトーク)

30年来女性作曲家の紹介に専心している音楽研究者にしてフェミニスト。

(詳細なバイオグラフィは当日のプログラムに掲載)

● 知られざる作品を広める会

音楽の歴史を振り返ってみても、魅力的な作品が忘却の淵に沈んでしまうというケースは多々あります。ましてや今日のような高度情報化社会になれば、却って画一的な価値観が押し付けられ、クラシック音楽が本来持っている多様性が失われがちです。有名作曲家の作品は微に入り細にわたり研究・演奏されるようになる一方、知られざる作曲家は無名であるという理由だけで演奏家・聴衆から排除されてしまいます。

「知られざる作品を広める会」は有名・無名を問わず、優れた演奏家の方々にご協力いただき、そうした作曲家たちの忘れられてしまった作品の価値をもう一度、実際の演奏を通して判断していただく企画です。皆様の参加を心よりお待ちしております。

知られざる作品を広めるコンサート、これまでの演奏会記録

(1) レベッカ・クラークとアンリエット・ルニエ

2002年7月9日、東京文化会館小ホール
出演：川本嘉子 (va)、吉野直子 (hp)、小山実稚恵 (pf)、有馬理絵 (cl)

(2) ギター作品で知られる作曲家たちのピアノ曲と室内楽

(現代ギター社GGサロン)

第1回「アレクサンデル・タンスマン」 2003年1月25日

出演：川畑陽子 (pf)、江口心一 (vc)

第2回「マリオ・カステルヌオヴォ=テデスコ」 2003年3月8日

出演：三好優美子 (pf)、有馬理絵 (cl)

第3回「マヌエル・ボンセとA. タンスマン」 2003年4月26日

出演：小柳美奈子、川畑陽子 (pf)、森下幸路 (vn)

(3) セイシャス・プロジェクト 2004

第1回「カルロス・セイシャス生誕300年記念バースデー・コンサート」

2004年6月11日、津田ホール

出演：曾根麻矢子 (hpsi)、小林久美、安井優子 (vn)

川本嘉子 (va)、江口心一 (vc)

第2回「セイシャス：鍵盤楽器のためのソナタ集、出版記念コンサート」

2004年12月4日、トッパンホール

出演：小柳美奈子、三好優美子、谷 真人、岸本雅美、松谷園子

宮谷理香 (pf)、鈴木理恵子 (vn)

(4) アントン・アレンスキー没後100年記念コンサート(その命日に)

2006年2月25日、トッパンホール

出演：新井博江、川畑陽子、三輪 郁、前田拓郎、松谷園子、宮谷理香、

高橋多佳子 (pf)、横山奈加子 (vn)、江口心一 (vc)

(5) アガート・バッケル=グレンダール

没後100年記念コンサート(その命日に)

2007年6月4日、東京文化会館小ホール

出演：新井博江、三輪 郁 (pf)、本島阿佐子 (sop)

(6) 女性作曲家音楽祭2007(全12公演)

2007年8月6日～10日、杉並公会堂小ホール

6、7、10日：室内楽・器楽コンサート(1)～(6)

8、9日：ピアノ曲マラソン・コンサート(1)～(6)

(36作曲家、29アーティスト、総演奏時間約22時間)

(7) ポリーヌ・ガルシア=ヴィアルド記念コンサート(全3回)

●歌うヴァイオリン～ヴィアルド族の室内楽

2010年5月18日(没後100年の命日)、津田ホール

出演：大谷康子、小林美恵 (vn)、百武由紀 (va)、刈田雅治 (vc)、山田武彦 (pf)

●ポリーヌ・ヴィアルドと「うた」

2012年3月24日、津田ホール

出演：野々下由香里 (sop)、波多野睦美 (ms)、

長尾春花 (vn)、江口心一 (vc)、山田武彦、前田拓郎 (pf)

●生誕200年記念コンサート

2021年7月18日 王子ホール

出演：波多野睦美 (ms)、山田武彦 (p)

(8) アルカン生誕200年記念コンサート

●第1、2回 ピアノ・コンサート「性格的小品の王者」

2013年11月28日、東京文化会館小ホール

出演：岸本雅美、仲道祐子、広瀬悦子、森下 唯、山田武彦 (pf)

●第3回 バースデー・コンサート(室内楽・ピアノ曲)

2013年11月30日、勤労福祉会館ホール(杉並区)

出演：瀬崎明日香 (vn)、上森祥平 (vc)、菊地裕介、島田彩乃、森下 唯 (pf)

(9) 平等と自由を求めた女性作曲家たち

～ル・ボーとアンドレーを中心に

2015年1月9日、津田ホール

出演：遠藤加奈子 (vn)、江口心一 (vc)、宮崎貴子 (pf)

(10) アントン・アレンスキー没後110年記念コンサート(その命日に)

2016年2月25日、杉並公会堂小ホール

出演：石岡千弘、上野優子、内門卓也、山本恵利花 (pf)

(11) 女性作曲家ピアノ曲マラソン・コンサート

(セシル・シャミナードの誕生日に)(全2公演)

2019年8月8日、杉並公会堂小ホール

[取り上げた作曲家：シャミナード、ビーチ、ジャエル、マイヤー、ファランク、アウエルンハマー、

L.ブランジェ、バダジェフスカ、ル・ボー、バッケル=グレンダール、ガルシア=ヴィアルド、

アンドレー、メル・ボニス、メンデルスゾーン=ヘンゼル、モンジェル、カレーニュ、シマノフスカ]

出演：岸本雅美、五味田恵理子、正住真智子、エミィ轟シュワルツ、西原侑里、

東浦亜希子、弘中佑子、山口裕子 (pf)

(12) 風の時代のクラシック音楽

～音楽史を神棚から降ろして(全2公演)

2023年9月20日、杉並公会堂小ホール

[取り上げた作曲家：アルカン、マレ、ロッシェニ、ドゥシェク、ルフェビュール=ヴェリ、他]

岸本雅美、栗田奈々子 (pf)、上森祥平 (vc)、谷戸亮太 (語り)



知られざる作品を広めるコンサート(13)

女性作曲家に魅せられて

アンリエット・ルニエ 生誕150年記念コンサート

HENRIETTE RENIÉ

150th ANNIVERSARY
CONCERT OF
HER BIRTH

2025年11月21日(金)

21st November 2025

19:00開演(18:00開場)

プレ・トーク 18:15～18:45

演奏曲目：

「6つの小品 op.1」より3曲(ハープ)

「6つの小品 op.2」より3曲(ハープ)

宗教的アンダンテ(チェロとハープ)

スケルツォ=ファンタジー(チェロとハープ)

伝説(ハープ)

チェロ・ソナタ(チェロとピアノ)

2つの交響的小品(ハープとピアノ)

あいおいニッセイ同和損保

会場：ザ・フェニックスホール (大阪)

¥3,000 (全自由席)

福井麻衣(ハープ)

上森祥平(チェロ)

岸本雅美(ピアノ)

〔チケット取り扱い〕



チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード304-700)

セブン-イレブン店頭でも購入可能

ザ・フェニックスホールチケットセンター

TEL:06-6363-7999(平日10:00～17:00)

知られざる作品を広める会(下記)

〔主催・お問い合わせ〕

知られざる作品を広める会 谷戸(やと) TEL:03-3331-4010

知られざる作品を広める会

〔代表〕谷戸基岩

〔連絡先〕E-Mail unknownmusic@view.ocn.ne.jp

TEL 03-3331-4010／FAX 03-3331-4478

アンリエット・ルニエに魅せられて

「ハープについて考えること、それはルニエについて考えることに他ならない」

20世紀の日本で絶大な人気を誇ったハーピスト、リリー・ラスキーヌの言葉です。少し大げさに聞こえるかもしれませんが、それは19世紀末から20世紀前半フランスの音楽シーンにおけるハープ界の動きを要約した言葉でもあります。アンリエット・ルニエ（1875－1956）はハープの第一人者として演奏者、教育者としてだけでなく、作曲家としてもフランス楽壇にその楽器を通して多大な影響を与え続けました。一例を挙げるなら、彼女の「ハープ協奏曲」の成功をきっかけにピエルネ「小協奏曲（コンチェルトシュトゥック）」、ドビュッシー「神聖な舞曲と世俗的な舞曲」をはじめとするハープとオーケストラのための作品が次々と作曲されるようになったのです。

本コンサートでは、後にパリ音楽院の院長となる恩師テオドール・デュボワから作曲を促され最初にした「宗教的アンダンテ」をはじめ、ハーピストの定番である「伝説」、滅多に演奏されない「チェロ・ソナタ」や「2つの交響的小品」などルニエの幅広い創作を辿り、その実像に迫ります。

プログラム

〔プレ・トーク〕 18:15～18:45

小林 緑(国立音楽大学名誉教授)「アンリエット・ルニエ:彼女の物語 *Henriette Renié: Herstory*」

〔演奏曲目〕

6つの小品 op.1より (ハープ)

Six pièces brèves, op.1 (extrait)

第2曲 小川のほとり、第3曲 小さなワルツ、第5曲 リート

6つの小品 op.2より (ハープ)

Six pièces brèves, op.2 (extrait)

第1曲 クリスマスのお話、第5曲 夢想、第6曲 ガヴォット

宗教的アンダンテ (チェロとハープ)

Andante religioso

スケルツォ=ファンタジー (チェロとハープ)

Scherzo-Fantaisie

伝説〜ルコント・ド・リールの「妖精たち」に基づく (ハープ)

Légende: d'après les “ELFES” de Leconte de Lisle

～休憩～

チェロ・ソナタ (チェロとピアノ)

Sonate pour piano et violoncelle

2つの交響的小品 (ハープとピアノ)

Deux pièces symphoniques

第1曲 エレジー *Elégie*

第2曲 ダンス・カプリース *Danse caprice*

演奏者 ―――

福井麻衣(ハープ)

FUKUI Mai, harp

上森祥平(チェロ)

UWAMORI Shohei, cello

岸本雅美(ピアノ)

KISHIMOTO Masami, piano

司会進行:谷戸基岩

プロジェクト「女性作曲家に魅せられて」とその関連コンサート

新型コロナウイルスのパンデミック以降、海外では凄まじい勢いで様々な女性作曲家の作品を扱ったコンサートが開催され、CDが発売されるようになっていきます。アライバイ作的な取り上げ方ではなく、本格的に彼女たちの生涯と活動を検証する方向で運動が進められているのです。

女性作曲家研究者たちの間では「彼女たちの存在とその作品を語らないことは音楽史の半分を語っていないも同然だ!」という風にクラシック音楽界の現状が説明されることがあります。とりわけ19世紀以降のフランス音楽史に関しては正にその通りでしょう。

そして今年2025年はそんなフランスの重要な女性作曲家3人の記念年（アニヴァーサリー・イヤー）に当たります。ルイズ・ファランク（没後150年）、アンリエット・ルニエ（生誕150年）、マリー・ジャエル（没後100年）。それを記念して「レコード芸術ONLINE」誌上にて「女性作曲家に魅せられて」という連載が開始されました。音楽史の上で重要な女性作曲家たちとその作品、復興運動の歴史を集中的に紹介して行く4年がかりのプロジェクトです。それと連動する形で「知られざる作品を広めるコンサート」も日本各地で実施することになりました。ご期待ください。

「レコード芸術ONLINE」の連載



ボリス・ガルシア=ヴィアルド

2025年 4月号



ルイズ・ファランク

2025年 7月号



アンリエット・ルニエ

2025年 10月号



マリー・ジャエル

2026年 1月号

女性作曲家に魅せられて

―その墓標に捧ぐ―

谷戸基岩 & 小林 緑

詳しくは下記のURLを参照ください。

https://recogei.ontomo-mag.com/article/le_tombeau_de_la_compositrice/p-17649/



「女性作曲家に魅せられて」関連コンサート

●ルイズ・ファランク没後150年記念コンサート

2025年9月15日(月、祝) 音楽の友ホール(東京)

瀬尾和紀(フルート)、江口心一(チェロ)、栗田奈々子、山田剛史(ピアノ)

●アンリエット・ルニエ生誕150年記念コンサート

2025年11月21日(金) ザ・フェニックスホール(大阪) ※本公演

●マリー・ジャエル没後100年記念コンサート

2026年1月24日(土) ハレ・ルンデ(名古屋)

広瀬悦子、内門卓也(ピアノ)、鈴木皓矢(チェロ)



あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール

530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 TEL.06-6363-0311
(梅田新道交差点東南角・あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー内)

